

Information 事務局報告：庶務担当，広報渉外委員会から

1. 第29回日本脳神経血管内治療学会学術総会報告

2013年11月21日より23日まで，朱鷺メッセ（新潟市）にて，新潟大学脳研究所脳神経外科特任教授 伊藤 靖先生により，第29回日本脳神経血管内治療学会学術総会が開催されました。11月の新潟は長い冬を予感させる肌寒い気候ではありましたが，会場内では熱い活発な議論が行われました。応募演題は1000題近く，参加者は1925名と，ともに過去最高でした。本治療および本学会が大変注目されていることが再認識されました。

3つのプレナリーシンポジウムでは，WiFiを使った voting system が新しい試みとして使用されました。脳動脈瘤，頸動脈ステント留置術，急性再開通がテーマとして取り上げられ，Wakhloo 先生，Chapot 先生，Lopes 先生，Shin 先生などの外国招待演者も交え，大変有意義な議論が行われました。その他，シンポジウム8題，一般口演208題，コメディカル口演42題，一般ポスター607題，コメディカルポスター39題が討論されました。また25の企業共催セミナーも開催され，早朝のアーリーバードセミナーでさえ若い医師達により満席でした。2日目の夕方には会員懇親会が催されましたがこちらも満員で，新潟の食事と銘酒を堪能することができました。3日目の午前中で本会は終了し，午後は基本編と応用編の CEP が行われ，650名が参加しました。例年通りの大盛会でしたが特に印象に残っているのは，アー

リーバードセミナーに参加していた若い医師たちです。CEP も含めてですが，基本的な内容を取り上げたセミナーへの参加者が多く，若い医師の学習意欲に驚くばかりです。今後の日本の血管内治療のさらなる発展が間違いないことを確認できた学術総会でした。（文責 松丸 祐司：広報渉外委員長）

2. 理事会，総会報告

- 1) 2012年度（2012.10-2013.9）の決算，2013年度（2013.10-2014.9）の予算が承認されました。
- 2) 副会長（次々期会長）に，吉村紳一先生（兵庫医科大学脳神経外科）が選任され，2016年の学術総会会長に決まりました。
- 3) 滝 和郎先生（康生会武田病院脳卒中センター）が相談役に再任されました。
- 4) 電子メール会議細則，地方会細則，学会推薦助成研究細則が，採択され，発効しました。詳細は，学会ホームページをご覧ください。
- 5) 専門医制度委員会にて審議の結果，日本専門医機構が定める整備指針に沿って，日本脳神経血管内治療学会専門医制度を整備すること，日本脳神経外科学会と密接な協議を続けサブスペシャリティ専門医を目指すこと，内科や放射線科にも配慮すること，が議決されました。